



2009年度第2四半期決算説明会

2009年11月5日

積水化成品工業株式会社

(証券コード 4 2 2 8)

2009年度上期決算概要

単位：百万円

	2008上期	2009年度上期		前年同期比	計画比
	実績	計画	実績		
売上高	49,395	43,100	49,568	+0.3%	+15.0%
営業利益	1,529	1,160	1,933	+26.4%	+66.7%
経常利益	1,507	1,060	1,722	+14.3%	+62.5%
四半期純利益	682	500	1,069	+56.6%	+113.9%

連結中間決算開始以降(2000年度)以降、上期としては過去最高の売上・利益を達成

- ・高機能品の売上が第2四半期以降想定以上に回復
- ・PSPが事業譲受効果などで販売数量増加
- ・退職給付費用負担増で経費増加も、高機能品増と原価低減効果で利益改善
- ・子会社赤字削減で税負担軽減

2009年度上期セグメント業績

単位:百万円

		2008上期 実績	2009年度上期		前年 同期比	計画比
			計画	実績		
樹脂事業	売上高	22,131	16,600	17,690	△20.1%	+6.6%
	営業利益	1,138	600	849	△25.4%	+41.6%
シート事業	売上高	21,097	21,000	25,563	+21.2%	+21.7%
	営業利益	479	620	813	+69.8%	+31.2%
建材事業	売上高	4,066	3,500	3,788	△6.8%	+8.3%
	営業利益	△98	△20	172	黒字化	
その他事業	売上高	2,100	2,000	2,525	+20.3%	+26.3%
	営業利益	10	△40	91	+735.8%	黒字化

- <樹脂事業> EPSが数量減も、ピオセランなど高機能品が第2四半期以降需要回復
- <シート事業> PSPが事業譲受効果などで販売数量増加
- <建材事業> 建材は売上減も土木は堅調、合理化効果で黒字転換
- <その他事業> ファーストフード向け紙容器、マスク商品などが好調

2009年度 修正計画概要

単位:百万円

	2008年度 実績			2009年度 当初計画(4/30公表)			2009年度 修正計画		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高	49,395	46,707	96,102	43,100	47,900	91,000	49,568	48,432	98,000
営業利益	1,529	2,590	4,119	1,160	2,040	3,200	1,933	2,267	4,200
経常利益	1,507	2,374	3,881	1,060	1,940	3,000	1,722	2,128	3,850
当期純利益	682	1,429	2,111	500	1,100	1,600	1,069	1,181	2,250

固定費増加を高機能品販売増でカバー、年間で対前年増収増益

- ・デジタル家電・自動車部材を中心に高機能品を上期よりさらに売上拡大
- ・汎用品は原料価格の動向に適切に対応し、利益確保

2009年度 セグメント・設備投資修正計画

単位:百万円

		2008年度実績			2009年度修正計画			
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	(当初計画)
樹脂事業	売上高	22,131	17,125	39,256	17,690	19,310	37,000	(36,400)
	営業利益	1,138	1,297	2,435	849	1,351	2,200	(1,900)
シート事業	売上高	21,097	22,130	43,227	25,563	22,337	47,900	(42,500)
	営業利益	479	1,015	1,494	813	787	1,600	(1,320)
建材事業	売上高	4,066	4,916	8,982	3,788	3,912	7,700	(7,700)
	営業利益	△98	180	82	172	78	250	(40)
その他事業	売上高	2,100	2,535	4,635	2,525	2,875	5,400	(4,400)
	営業利益	10	101	111	91	59	150	(△60)

	2008年度 実績			2009年度 修正計画			
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	(当初計画)
設備投資	2,018	3,482	5,500	2,097	2,203	4,300	(4,500)
減価償却	1,914	2,146	4,060	1,840	2,060	3,900	(4,470)

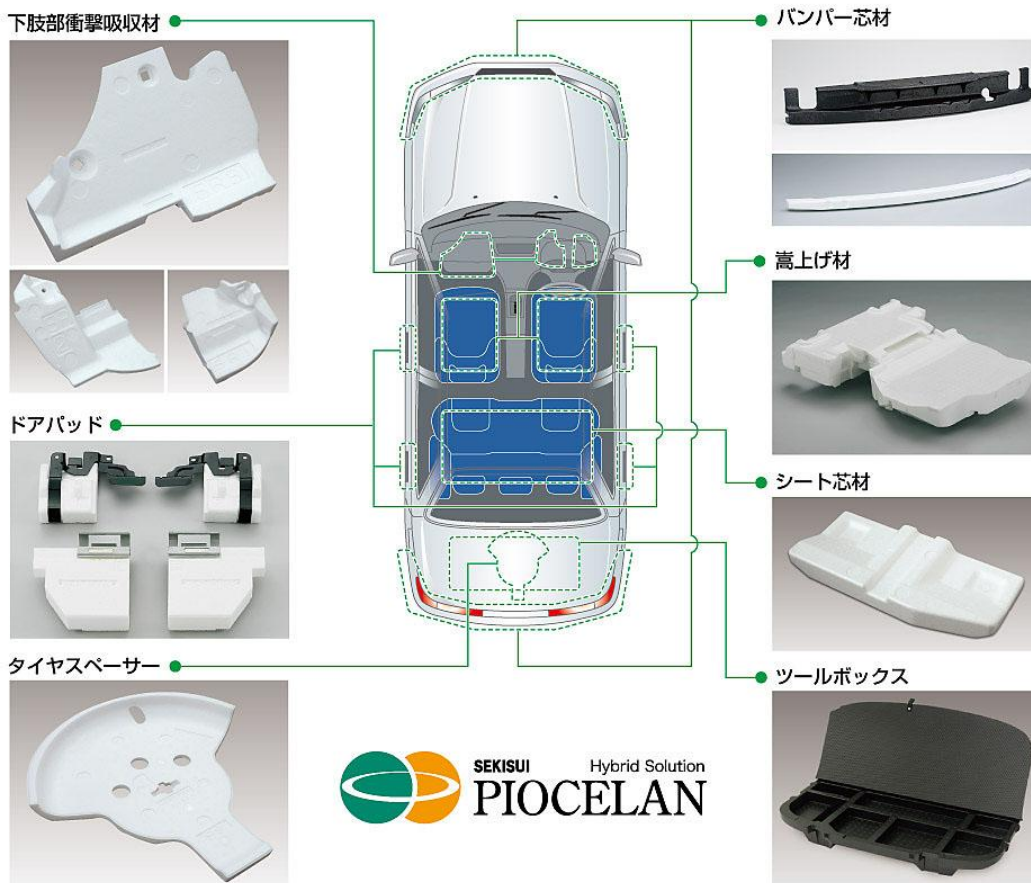
主要製品の状況・・・高機能品

ピオセラン

…ポリスチレンとポリオレフィンを組み合わせた当社独自の複合樹脂発泡品

自動車部材

…軽量性(燃費向上)と衝撃吸収性(搭乗者保護)に優れ、採用車種・部位増加中



主要製品の状況・・・高機能品

デジタル家電緩衝材

…薄型テレビの大型化、製品・部材のグローバル輸送増により採用増加

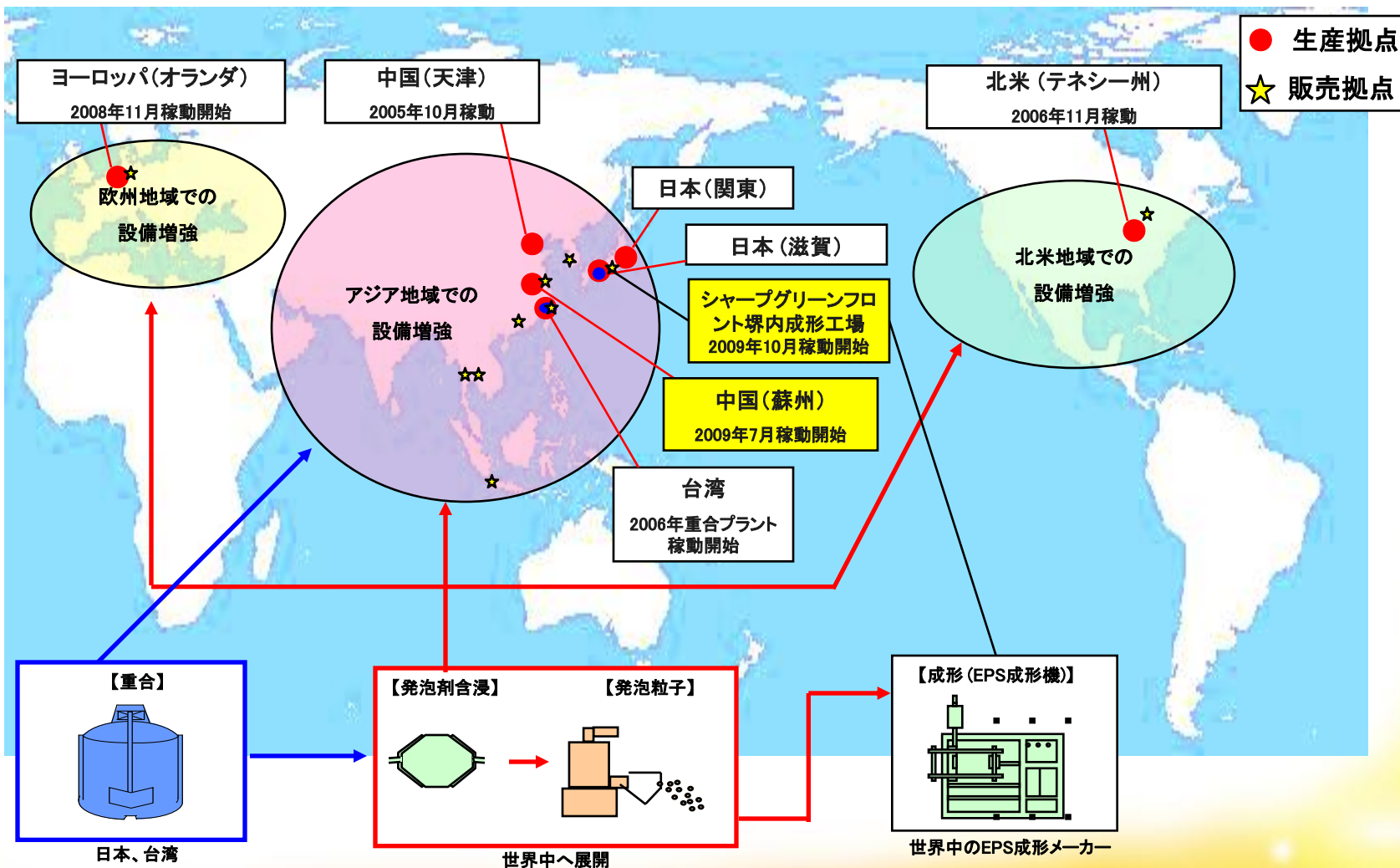


特にセル工程→モジュール工程→完成品組立工場での工場間輸送BOX採用増加中



主要製品の状況・・・高機能品

ピオセラングローバル供給拠点の構築完了・・・需要回復が想定以上のためさらなる設備増強の検討開始



主要製品の状況・・・高機能品



上期トータルでは前年同期比減だが、7-9月は前年同期を上回る回復

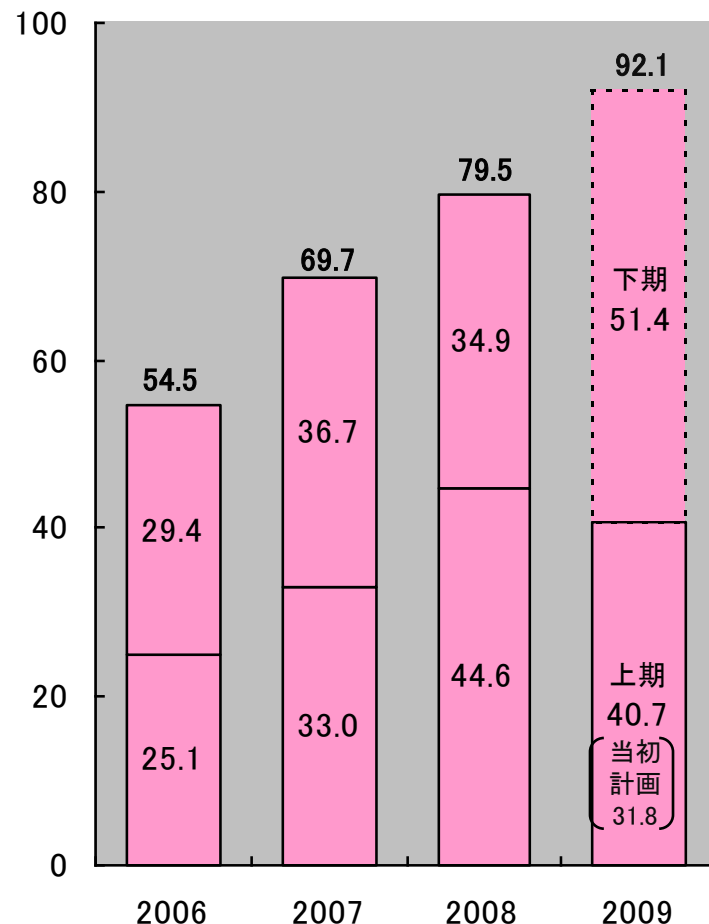
- ・自動車部材は環境対応車への採用が多くほぼ前年同期並み
- ・デジタル家電向けが特に第2四半期以降大幅に回復
- ・蘇州工場7月稼動開始、フル稼動状態



下期もシャープ堺、中国需要増など上期比増加見込み

- ・シャープグリーンフロント堺内成形工場10月稼動開始、順調な立ち上がり
- ・自動車部材も環境対応車増に新規採用加わり増加

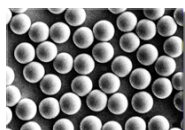
億円 ピオセラン売上高



主要製品の状況・・・高機能品

テクポリマー

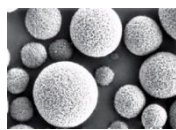
・・・当社独自の重合技術から生まれた有機微粒子ポリマー(3μ m～200μ m)



標準品



非真球状



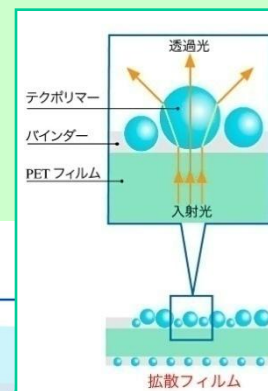
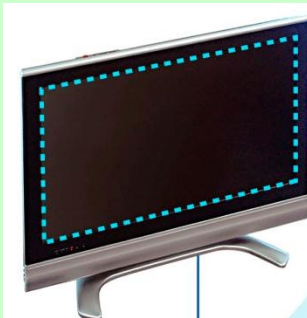
多孔質状



光拡散用途

液晶テレビ・モニターの光拡散機能

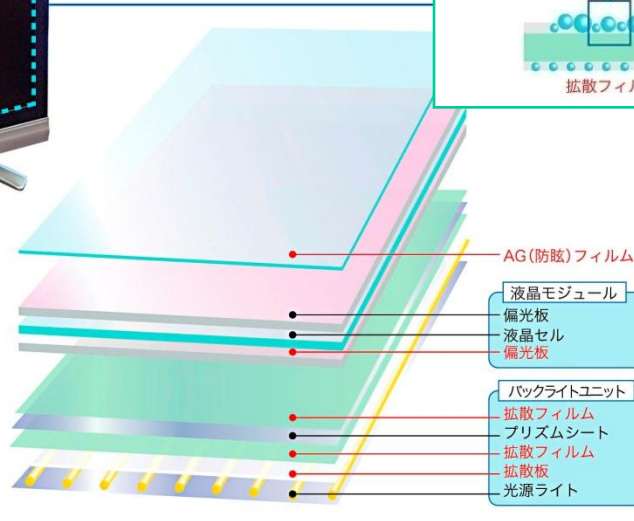
テクポリマーの主な使用液晶部材・・・
拡散フィルム、拡散板、AG(防眩)フィルム



塗料用途 (艶消し効果)



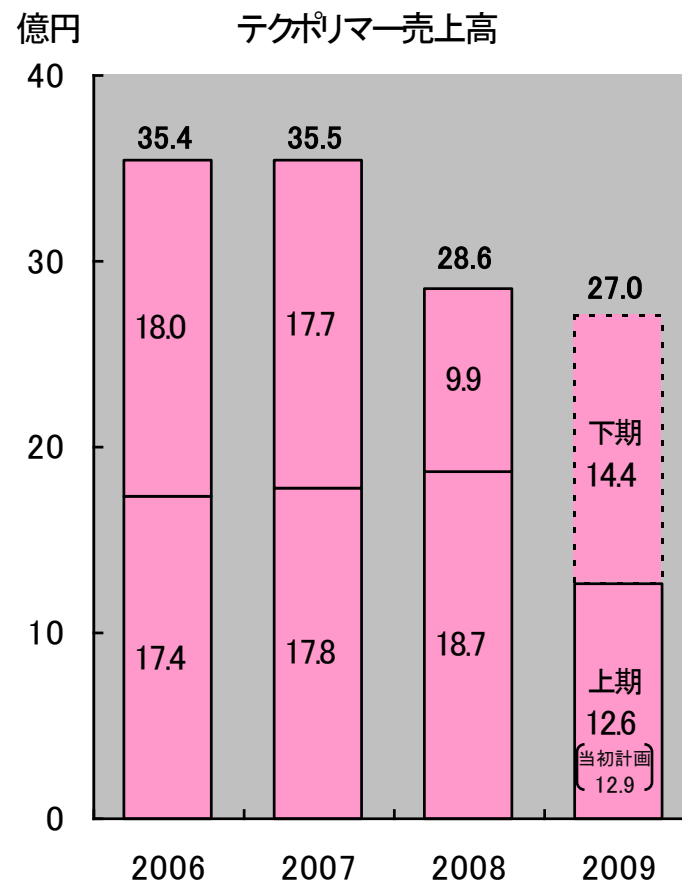
化粧品用途 (しわ隠し、滑り性、 触感改良)



主要製品の状況・・・高機能品

光拡散向けは需要回復進むも、新たな需要開拓が急務

- ・主力の拡散フィルム向けはほぼ想定どおりの需要回復
 - ・防眩(AG)フィルム、複合機能シート向けは順調に拡大
 - ・化粧品向けが減少
- ↓
- ・液晶部材向け販売数量確保に加え、LED照明分野事業拡大



主要製品の状況・・・汎用品

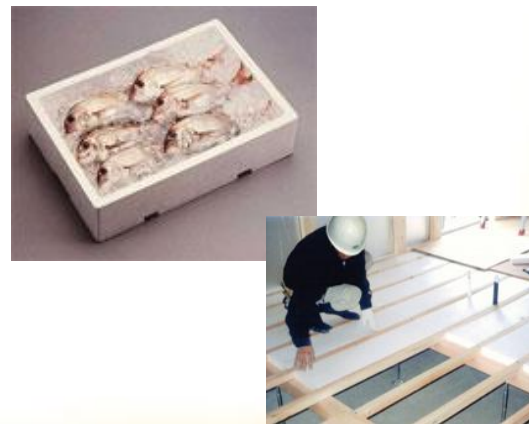
エスレンシート（PSP）

- ・カップめん用途の需要が堅調だったことに加え、サンポリマーからの事業譲受(3月)が想定以上に寄与し、販売数量増加
- ・原料値上げ(1次:7月、2次:9月)に対応した製品価格改定が完了



エスレンビーズ（EPS）

- ・主用途の水産向け不振に加え、建材・家電用途の需要減、輸入品の増加などにより、販売数量の減少
- ・成形子会社の省エネなど原価低減による採算改善が進展



積水化成品グループ100年ビジョン について

積水化成品グループ100年ビジョン

積水化成品工業株式会社は2009年10月1日に創立50周年を迎えました。
これを機に、積水化成品がグループとして今後の50年もさらに発展していくため、
「積水化成品グループ100年ビジョン」を策定しました。

「積水化成品グループ100年ビジョン」の策定コンセプト

グローバル
展開

と

グループ
経営

積水化成品グループ100年ビジョン・・・目指す姿

積水化成品グループが創立100周年(50年後)に目指す姿として、

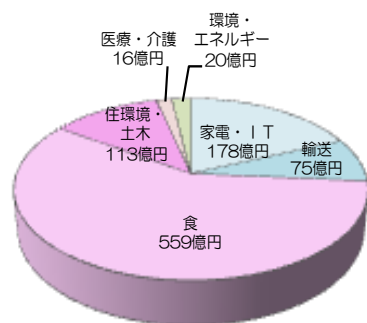
積水化成品の創業の精神や新たな経営理念をベースに、「インダストリー」「ヒューマンライフ」「環境・エネルギー」の分野でグローバルに事業展開するとともに、「CSR」「全員経営」をグループ全体に展開し、「グローバルに顧客から信頼されるプラスチック・ソリューション・カンパニー」を目指していきます。



積水化成品グループ100年ビジョン・・・事業ビジョン

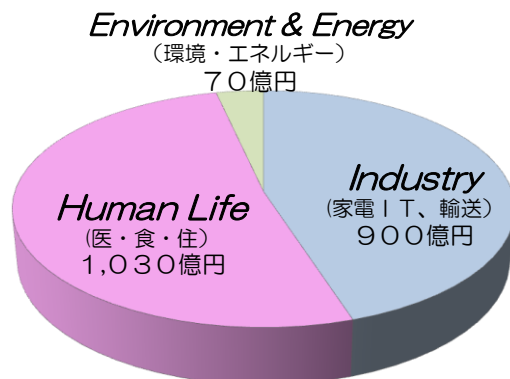
将来の事業分野(ユニット)と展開

現在
(創立50周年)



連結売上高：961億円
グループ員数：2195名
(2008年度)

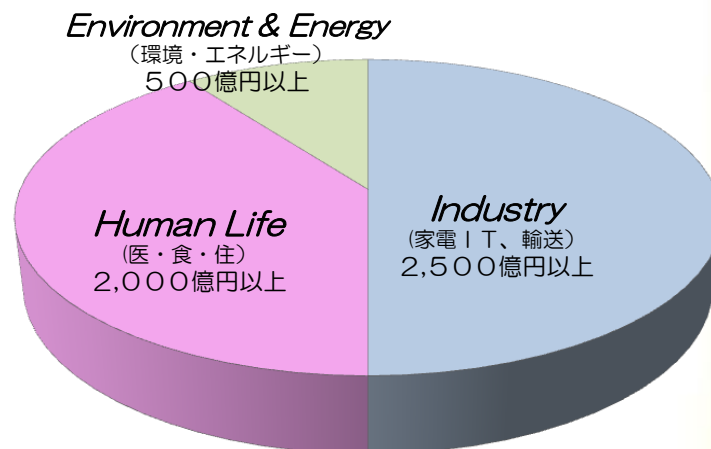
10年後
(創立60周年)



連結売上高：2000億円
グループ員数：4000名



50年後
(創立100周年)



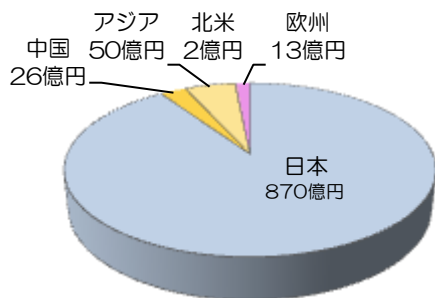
連結売上高：5000億円以上
グループ員数：8000名

- ・家電・IT、輸送分野ではグローバル化の進展と、梱包中心から部材への転換が行われている。
- ・食、土木分野では、国内での実績を基に、グローバルも含めた新たな展開を推進している。
- ・医療・介護、環境・エネルギーなど、新分野へのアメーバ展開を推進している。

積水化成品グループ100年ビジョン・・・事業ビジョン

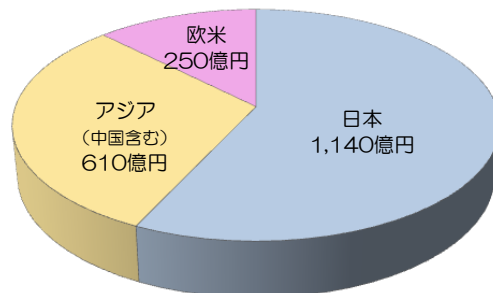
将来のグローバル展開

現在
(創立50周年)



海外連結売上高：91億円
海外売上高比率：10%
(2008年度)

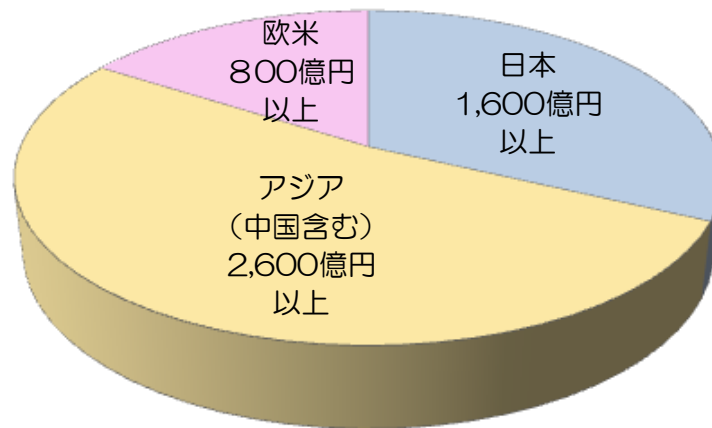
10年後
(創立60周年)



海外連結売上高：860億円
海外売上高比率：43%



50年後
(創立100周年)



海外連結売上高：3400億円以上
海外売上高比率：68%

既存事業も含めた真のグローバル企業への変革

- ・市場拡大が予想される中国・アジアに重点、先行している家電・IT、輸送の拠点を利用し、食や土木での参入を行っている。
- ・他地域は家電・IT、輸送を中心に日系メーカーから現地メーカーに展開している。
- ・現地生産・現地对応を中心とした事業展開を進めている。

積水化成品グループ100年ビジョン

新中期経営計画について

2010年度からスタートする予定の中期経営計画は、この積水化成品グループ100年ビジョンに添った形で今後策定。



- ・10年後の事業ビジョンをベースとして、各事業分野でのミッションとアクションプランの策定
- ・海外展開に向けての人事・体制も含めたビジネスサポートの仕組みづくり
- ・事業部・本社部門合わせて組織体制・人員体制の見直し
- ・グループ経営推進のための仕組みづくり

人と環境を大切に 夢をふくらませる積水化成品グループ



積水化成品グループが
出展します。

本資料に記載されている見込、計画、見通しなど将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。